

千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより

広報紙
第27号

令和6年3月22日発行

【発行元】

千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会 会長 藤尾 健二

それぞれの地域に合った「基幹型」を目指して

令和6年は、能登半島において大きな地震があり、例年とは大きく異なる年明けとなりました。未だ不自由な避難生活を余儀なくされる方々にお見舞い申し上げますと共に、震災等への備えの重要性を痛感する次第です。

さて令和5年度も終盤を迎え、いよいよラストパートです。令和6年度は、障害者雇用、福祉双方に大きな動きがあります。我々支援機関も準備を進めていかなければなりません。

1. 質の高い障害者雇用・就労に向けて

ここ数年当協議会においては、「雇用の質」というキーワードが常に議論の中心にあります。「雇用の質」については、障害者雇用率ビジネスの台頭・問題化により注目を集めることとなり、令和5年4月には、障害者雇用促進法において企業の責務として「能力開発」の文言が盛り込まれました。単に雇用率のみに着目するのではなく、障害者雇用の「戦力化」を図り、雇用の質の向上を目指すことが求められるようになりました。そして我々支援機関に求められる役割、スキルもこれまで以上に必要となります。今年度は主任を対象とした研修を「千葉県特例子会社連絡会」との合同開催として、企業・支援機関の垣根を超えてより良い雇用・支援について意見交換することに取り組みました。連絡協議会としては、このような取り組みを通して、更なる支援力の向上に取り組んでいきたいと思っております。

2. 地域を把握し、地域に合った「基幹型」の役割を

今年度も昨年度に引き続き、全国就業支援ネットワークでは「定着支援地域連携モデルに係る調査事業」を厚生労働省より受託し、進めてきました。今年度は、全国6か所のセンターに手を挙げていただき、昨年度報告いただいたセンターとペアを組んで様々な取り組みを行いました。既に地域事情にあった取り組みをしているセンターを「応援センター」として、新たな取り組みにチャレンジしてもらいました。千葉県からは香取就業センターに「応援センター」としてご協力いただき、茨城県水戸市のセンターとペアを組んで「地域のネットワークの連携を就労支援の体制にまで深めていくために」をテーマに取り組んでいただきました。また、個別の取り組みだけではなく、今回参加いただいた「茨城県」「三重県」においては令和6年度「なかぼつ連絡協議会」を立ち上げることとなり、千葉県の取組が全国に拡がり始めたことを実感する機会となりました。

3. 福祉との連携を通して

令和6年度の報酬改定においては、障害者就業・生活支援センター受託法人が「就労定着支援事業」を実施することが可能となる旨が既に伝えられています。また、令和7年度には新たな福祉サービスである「就労選択支援事業」がスタートします。これまで以上にナカボツセンターと福祉サービスの連携が必要になると思われます。地域の就労支援の中核を担うセンターとして、単に連携を図ることに留まらず、福祉サービス、ナカボツセンター等によってどのような地域を目指すのかを模索していくことが求められます。

連絡協議会では、働く障害者・企業・地域資源・行政等との連携を通して「基幹型」としてのそれぞれの在り方を模索していきますので、今後とも、当協議会にご指導・ご鞭撻いただきますよう、お願い申し上げます。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会長 藤尾 健二

主任就業支援担当研修（千葉県特例子会社連絡会との合同研修）

～本音を語る関係性の構築になれば～

去る1月19日（金）にTKPガーデンシティ千葉会議室にて、主任就業支援担当と特例子会社との合同研修会が開催されました。

『障害者雇用・就労支援の「質」の向上に向けて ～令和4年改正が目指したもの～』をテーマに、厚生労働省福岡労働局長 小野寺徳子氏よりご講演いただきました。短時間雇用（10時間から20時間未満）の雇入れに特例給付金制度を設け、中小企業の「もにす認定制度」の導入に効果があったこと、また障害者雇用ビジネスは、障害者雇用促進法第5条に新たに明確化された職業能力の開発、及び向上等の理想的な企業戦力としての雇用ではないことの説明がありました。講演の最後に、共生社会の実現には障害者を戦力化することの必要性が強調されていました。

グループワークにおいては「支援機関との連携の大切なこと」を討議し、信頼関係の構築には対話と情報共有が大切であること、また「障害者雇用において大切なこと」は当事者を戦力化していくことが大事であると確認できました。

研修を通して、ナカポツと特例子会社と本音を語る関係性の構築が必要であると感じました。

長生ブリオ 深澤 茂雄



センターの日常 ～山武ブリオ～

山武ブリオは大網白里市に事務所を構え、千葉県における山武圏域（人口約20万人）を担当しているナカポツセンターです。大網白里市は、緑豊かな丘陵部や田園風景、雄大な太平洋と九十九里浜を有する、温暖で緑あふれる住みよい地域です。

そんな山武ブリオで大切にしていることは、「利用される方々への丁寧な対応」と「関係機関との密な連携」です。丁寧な対応ということに関して、特に初めて利用される障害者の方にとっては、緊張や不安が強くなる方が多いと思います。そのような方々のお考えやニーズに対して丁寧に耳を傾け、「相談して良かった」と思えるようなサービスを心掛けています。

また、関係機関との連携ということに関しても、「相談しやすいセンター」を心掛け日々の業務を行っています。関係機関からの問い合わせに対してレスポンス良く対応すること、困難ケースに関して共にケース会議を行うこと、企業情報などの就労に関する情報を定期的に発信すること等を通して、地域から信頼していただけるセンターを目指しています。

そんな山武ブリオにぜひ一度ご相談ください。

山武ブリオ 押尾 溪介



制度施策部会の活動について

前年度より、障がい者雇用に関する好事例を取り上げた冊子を作ろうと、構成を詰めてきました。今年度末を目標に原稿を完成させ、次年度に印刷業者の協力を仰ぎ完成を目指す予定です。部会の本来の目的は「制度や施策について現場からしっかり意見具申する事」で、近年は「質の良い雇用の実現」に焦点を当てています。法定雇用率が定められて半世紀、特例子会社制度が出来て四半世紀。世の中には当時は想像できなかった制度が充実し、一方で制度（の本来の目的）に乗り切れない企業をターゲットにしたインフォーマルな「悪しき仕組み」も登場しました。いつの時代も現場にいて、働く／働きたいと願う本人と、受け入れる企業双方の声を聞ける立場として現実を冷静に捉えつつ、理想を求め続ける存在でありたいと思います。

あかね園 中 真宏



現在
作成中
です

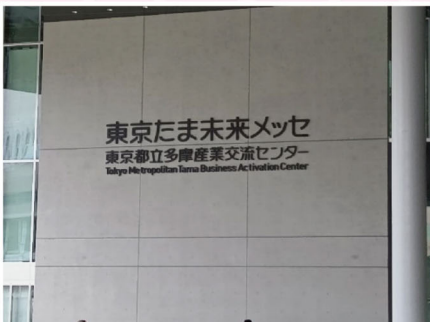
第10回 障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラムに参加して

2/22（木）、23（金）八王子にある東京未来たまメッセにて、「障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるフォーラム IN八王子」と題し、東京会場では久しぶりの開催となり全国から約150名が参加されました。

1日目は、NPO法人障がい者雇用支援戦略会議 代表理事 今野雅彦氏より「さらなる雇用率アップに向けた障害者雇用の戦略とは」を題し、雇用の可能性をどう見出すか、労働の質と事業主の責務についての講話が印象的でした。人口別のグループディスカッションでは、今後のセンターをどう変えるかをテーマにどのグループも活発な意見交換が行われました。

2日目は、厚生労働省より法改正のポイントなど行政説明がなされ、パネルディスカッションでは新たに始まる就労選択支援や就労定着支援についても議論がなされました。法改正にともない、ナカポツの間われる役割や責務に拡がりが見える一方で、求められる質や内容も増えることが予想されます。雇用と福祉の連携強化や現状大きな転換期にある障害者雇用について、今後の自身の在り方について学びの機会となりました。

ピア宮敷 隈井 明美



ピア宮敷 鶴岡さんのつぶやき 最終回



皆さん、お疲れ様です！そろそろパトタッチの頃かなと思いながらの最後のつぶやきです。広報紙は外部への周知も勿論ですが自分は千葉県のナカポツセンター同士の「絆・繋がり」を都度感じられる広報紙であると感じています。自センター然り、各法人内でナカポツセンターはその特殊性から法人内で理解を得難い環境。相談をしたくても業務が違いすぎて話せない等の悩みが多く「孤独」を感じる状況が多いと考えます。千葉では連絡協議会の活動を通して自センターは孤独ではない、この千葉には仲間が居ると感じられることは本当に貴重なことだと感じています。この協議会の「絆・繋がり」を大切にしていこう（飲み行きましょう）というつぶやきでした。

千葉県障害者就業・生活支援センター一覧

野田圏域 はーとふる



〒278-8550
野田市鶴峯7-1
野田市役所1F
TEL
04-7124-0124

市川圏域 いちされん



〒272-0023
市川市南八幡
5-17-11 (1F)
TEL
047-300-8630

船橋圏域 大久保学園



〒274-0053
船橋市豊富町690-13
TEL
047-457-7380

習志野圏域 あかね園



〒275-0024
習志野市茜浜3-4-6
京葉測量(株)内
TEL
047-452-2718

千葉圏域 千葉障害者キャリアセンター



〒261-0002
千葉市美浜区新港43
TEL
043-204-2385

市原圏域 ふる里学舎地域生活支援センター



〒290-0265
市原市今富1110-1
TEL
0436-36-7762

君津圏域 エール



〒292-0067
木更津市中央1-16-12
サンライズ中央1F
TEL
0438-42-1201

松戸圏域 ビック・ハート松戸



〒271-0047
松戸市西馬橋幸町117
ロザール松戸109号室
TEL
047-343-8855

香取圏域 香取就業センター



〒287-0101
香取市高萩1100-2
高萩福祉センター内
TEL
0478-79-6923

柏圏域 ビック・ハート柏

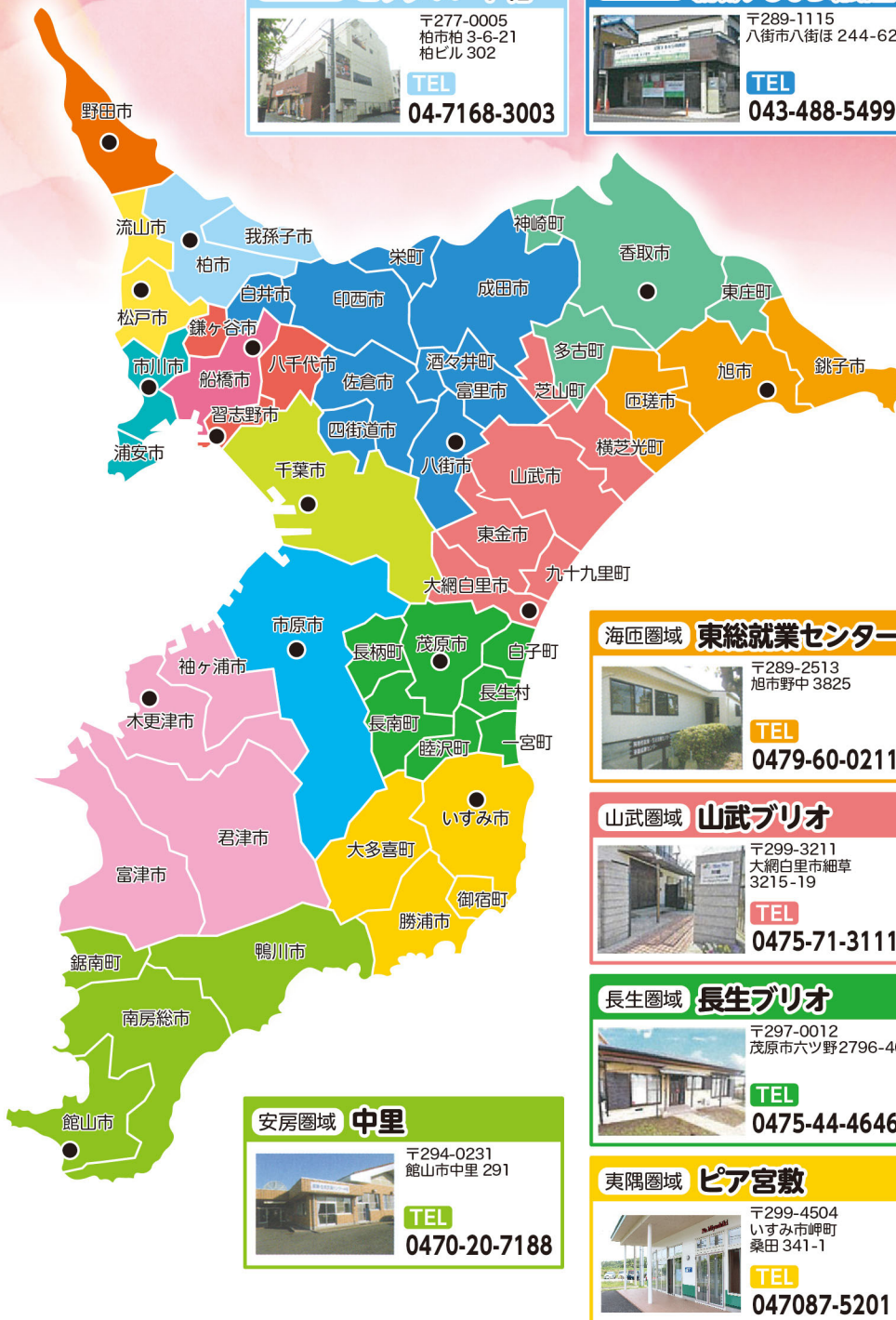


〒277-0005
柏市柏3-6-21
柏ビル302
TEL
04-7168-3003

印旛圏域 就職するなら明朗塾



〒289-1115
八街市八街ほ244-62
TEL
043-488-5499



海匝圏域 東総就業センター



〒289-2513
旭市野中3825
TEL
0479-60-0211

山武圏域 山武ブリオ



〒299-3211
大網白里市細草
3215-19
TEL
0475-71-3111

長生圏域 長生ブリオ



〒297-0012
茂原市六ツ野2796-40
TEL
0475-44-4646

安房圏域 中里



〒294-0231
館山市中里291
TEL
0470-20-7188

夷隅圏域 ピア宮敷



〒299-4504
いすみ市岬町
桑田341-1
TEL
047087-5201

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 事務局 TEL 0436-36-7762 FAX 0436-26-7090

〒292-0067 市原市今富1110-1 障害者就業・生活支援センター／ふる里学舎地域生活支援センター
E-mail: fg.shien@yukeikai.jp URL: http://www.chiba-centernw.com/



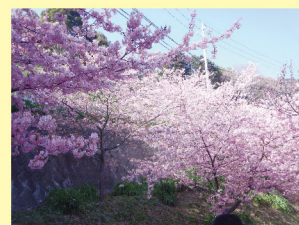
千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

編集後記・広報部会より

私の地元鋸南町では、12月に水仙が開花をしてから、2月に河津桜(鋸南では頼朝桜と言います)が咲き、そしてソメイヨシノがそろそろ開花と、南房総ではストック・金魚草・キンセンカ等も咲き、花摘みといちご狩りの観光客で週末を中心に賑わいをみせます。また田植えの準備もあちらこちらで始まり、春の訪れを様々な場面で感じられるようになってきました。

年度末となり、報告書・計画書等の作成でパソコンと向き合う時間も多く、1年間を振り返り反省する事もあります。季節同様に常に歩み続け前向きに！次年度も過ごしたいなと思っています。

広報部会長 金木 隆裕



△鋸南町名所 佐久間ダムの頼朝桜です